

平成25年度

自然の不思議を探究中！



理科学研究の達人講座



～ 科学する心を育てます ～

今年度も、夏休みを中心に全5回のシリーズで、「子ども学習講座『理科学研究の達人講座』」が開催されました。この講座は、「自ら学び、自ら考える子ども」を育てるために、教育研究所と生涯学習課が共催で実施している事業で、8回目の開催となります。

今回は、市内の小学校5、6年生の希望者約60名が参加をしました。

この講座は、自分自身で研究したいテーマを選び、身のまわりにある材料を利用した実験を行い、その結果をもとにして、考察しながら研究をまとめるものです。実際に研究をまとめることを通して、理科学研究の進め方やまとめ方を学習します。

また、特別講義として、帝京大学や群馬大学の先生方を講師としてお招きして、科学の最先端に触れる実験や実習も行います。

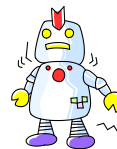


今回の特別講義



テーマ「声で動き、会話する170cm人型ロボット」

講師：帝京大学理工学部
ヒューマン情報システム学科
教授 関根久先生



はじめに、DVDを見ながら、会話する人型ロボットの仕組みなどのお話を伺いました。その後、子どもたちが実際にロボットに話しかけ、答えを聞くなどの会話をしました。

また、あわせて、小型のロボットを操作して、その仕組みや動きなどを楽しみながら学びました。



テーマ「永久ごまを作ろう」

講師：群馬大学理工学部 こうがくクラブ

石川 信宣 先生	川島 俊美 先生
中川 幸代 先生	木間 順一 先生
齋藤 昭吾 先生	尾池 弘美 先生
近藤 良夫 先生	藤田 晴子 先生
鏑木 喜雄 先生	野口 克也 先生
薊 知彦 先生	池田 正志 先生



永久磁石と電磁石などの電子部品を使って、電池が続く限り回り続ける永久ごまを作りました。たくさんの部品があり、作るのが大変でしたが、こうがくクラブの先生方のご指導により全員が完成することが出来ました。

この特別講義をとおして、電子部品の働きを知るとともに製作をする作業を通して、ものづくりの楽しさや完成させる喜びも味わうことが出来ました。